

関係者様

和歌山県テニス協会

2010 和歌山県知事杯テニス選手権大会 開催要項

兼 第 65 回国民体育大会 1 次予選会 及び ニッケ全日本テニス選手権 85th 県予選

下記要項にて開催しますので奮ってご出場下さいますようご案内します。

- 日 時： 5 月 2 日(日)・3 日(月祝)・4 日(火祝)・5 日(水祝) 予備日 23 日(日)
※一般男子・一般女子は、5 月 3,4,5 日に開催します。
※5 月 2 日はベテラン種目のみをファイナルまで行う予定です。
- 会 場： 和歌山市民土入テニスコート(5/2,3)・紀三井寺テニスコート(5/3,4,5,23)
主 催： 和歌山県テニス協会
- 種 目： 一般男子 単・複、一般女子 単・複
ベテラン男子 45 歳以上 単・複、ベテラン女子 45 歳以上 複(共に S.40. 12. 31 以前生まれ)
- 試合方法： 全て 8 ゲームプロセット(8 オールタイムブレイク)とする。
※但し、一般、ベテラン共日程及び試合進行上変更する場合がある。
※試合進行により、ナイター照明を使用する場合がある。
- 使用球： ダンロップ フォート イエロー
- 審 判： **ベスト 16 以上の試合の敗者(組)**は、同じコートで行われる次の試合の審判を行ってください。
(次の試合がどのカテゴリーの何ラウンドかは問いません。)
その場合、スコアカードを利用し、SCU 方式により審判をお願いします。
各大会日の最初の試合は、通常のセルフジャッジで試合を行います。
- ワンコイン制度： 本大会に全日本テニス選手権予選として出場する選手は、ワンコイン制度の対象大会となります。
参加にあたり、参加料とは別途、各種目ワンコイン制度金 100 円を負担願います。
- 参加料： **1 単位 ¥4,100-**【参加料 4,000 円 + ワンコイン制度 100 円】
(一般シングルスで全日本テニス選手権和歌山県予選として出場する場合)
1 単位 ¥4,000-
(ダブルス、ベテラン各種目および一般シングルスを知事杯・国体予選としてのみ出場する場合)
- 参加資格： オープン(但し、和歌山県テニス協会に選手登録をしている者に限る)
ジュニア選手については和歌山県テニス協会ジュニア委員会推薦選手に限る。
- 申込期日： **4 月 15 日(木)必着**
- ドロ-会議： 4 月 22 日(木)にドロ-会議を行います。
- 申込方法： ①郵便振替にて参加料を入金。
(振込用紙には必ずクラブ名及び代表者名の住所、氏名を記入のこと)
【振込先】郵便振込口座 00900-0-308354
口 座 名 義 和歌山県テニス協会
- ②申込用紙に領収書を添えて下記和歌山県テニス協会宛に郵送。
(申込用紙には必要項目を全て記入して下さい。必ずクラブ名記入の事)
〒640-8451 和歌山市中639-14
森川 聡 気付 和歌山県テニス協会
- 注意)仮ドロ-が必要なクラブは返信用封筒(長形3号120 * 235ミリ/90円切手貼り付)同封のこと。返信用封筒がない場合、仮ドロ-は郵送いたしません。

※ 尚、ドロ-は和歌山県テニス協会ホームページにも掲示します。

その他：

① 本大会は国体予選を兼ねていますので以下の点を累意のこと。

I 本大会ベスト4の入賞者及び県協会推薦者は6月12日(土)、13日(日)開催予定の国体最終予選会で順位を決め、和歌山県代表者を決定する。日程の都合や出場選手の人数により本大会で決定することもある。順位決定戦は8ゲームプロセット(8オールタイプブレイク)とする。但し、日程その他都合により変更する場合がある。

II 国体最終予選会の男子・女子の各上位2名が国体出場権を得る

III 国体県代表になるための条件(成年男子・成年女子)(抜粋)

1 参加資格

ア 日本国に国籍を有する者であること

イ 前回の大会(都道府県大会を含む)に選手及び監督で参加した者が異なる都道府県から参加する場合については2大会以上の間を置かなければならない。ただし、次の場合は該当しないこととする。

(ア) 成年種別

ア) 新卒業者

イ) 結婚又は離婚に係る者

2 選手の年齢基準及び所属都道府県の条件

(1) 年齢基準

成年に参加する者は、大会開催年の4月1日時において18歳以上の者とする。

(2) 所属都道府県

ア 居住地を示す現住所

イ 勤務地

ウ ふるさと(成年種別のみ)

※ア又はイが属する都道府県から参加する場合は、大会開催年の4月30日以前から大会参加時まで引き続き当該地にそれぞれ居住又は勤務又、在学していること。

ただし、成年種別の参加者が属する都道府県として「ふるさと」を選択する場合は、この限りではない。

IV 県代表に選ばれた者は8/20(金)、21(土)、22(日)に京都府で開催される国体近畿ブロック大会に和歌山県選手団(テニス競技)として出場すること。

※本国体は10/1(金)～4(月)に千葉県で行われます。

② 本大会で「ニッケ全日本テニス選手権 85th」和歌山県予選として出場した選手は、下記の点を留意のこと。

I 本大会の優勝者は、10月27日(水)～11月7日(日)に開催されるニッケ全日本テニス選手権 85th のC予選に県代表としての出場権を得ます。

③ 本大会は、個人情報保護法に基づいて運営を行います。

④ ジュニア推薦については、スプリングステージの結果を基に和歌山県テニス協会が推薦選手を決定し、後日テニスクラブ宛てに連絡します。**和歌山県中学生テニス大会と日程が重複しますのでエントリーの際はご注意ください。**

ソロチェアアンパイア

ソロチェアアンパイア（SCU）方式は主審ですが、ふつうの主審がついた試合とも、セルフジャッジの試合とも少し違います。詳しくはJTAテニスルールブックを参考にしてください。

まず、ラインパーソンの代わりに選手がジャッジをします。選手はセルフジャッジとおなじく、ネットより自分側のコートのジャッジをします。

そしてセルフジャッジの試合とちがうところは、選手がイン、アウト、をジャッジするのですが、あきらかにまちがったジャッジをしたときは主審が訂正できます。例えば、「アウト」、と選手がいったボールがあきらかにコート内に入っていたら、主審は、それを「イン」にできます。試合では、「今のボールは入っていました」、というかわりに、「コレクション、ボールワズグッド」と言います。

1) 試合の始まる前に 両方の選手の名前を確認して、以下のことを伝えます。

(ア) セルフジャッジで試合をしますが明らかなミスジャッジはオーバールールします、そしてオーバールールされたらポイントを失います。

(イ) 「レット」は自分が言うので、ボールが入ってきても勝手に試合を止めないでください。

(ウ) サービスの「レット」も自分がコールするので、自分たちで「レット」を言わないでください。

(エ) ウォームアップはサービスのみです。

それからトスとしてラケットをまわして、誰がサーブするか、どちらのコートをとるか、を決めてもらい、スコアカードにトスの結果を記入します。

2) 試合球（ボール）をわたし、ウォームアップが始まったら審判台に上がります。両方の選手がサーブを打ち終わったら「タイム」、と言います。

その間に、スコアカードの記入すべき部分を記入しておきます。

3) サーバーがサービスをはじめようとし、レシーバーが構えたら、「プレイ」と言います。

4) どちらかが得点するたび、ただちにスコアを言います。スコアのアナウンスはいつもの通りでいいですが、ポイントが終わったらすぐに、両方の選手に聞こえるような大きな声で言います。

例：15-0（スコアが確かでなかったら、両方の選手に確認してもいいです）

5) スコアカードを記入については記入見本を見てください。

6) ゲームが終わり、中村選手がそのゲームをとったら、「ゲーム中村、ワンオール」または、「ゲーム中村、中村リード 2-1」のように、そのときのスコアを言います。

7) 試合が終わったら、「ゲーム、セット、アンドマッチ、中村、6-4」などと言います。選手が握手にきたら握手します。

8) そして、審判台からおりてからスコアカードにスコアを記入します。

9) 勝者にスコアカードとボールを渡し、本部に試合結果を報告してもらうようお願いして終わります。

● わからないことがあったら何でも大会レフェリーまたはローピングアンパイアに聞いてください。